

＝ 在日韓国良心囚同友会結成36周年記念行事 ＝

センイル
「生日—在日韓国人政治犯・高秉沢の獄中手記—」
コ・ピョンテク

出版記念会



コ・ピョンテク
高秉沢先生

皆さま、特別に暑い夏です。健康管理にはくれぐれもお気をつけください。

皆さま、在日韓国良心囚同友会は今年結成36年を迎えるに当たり、「高秉沢先生の獄中手記—生日（センイル）」を出版いたします。高秉沢先生は1974年に不当拘束され、裁判で求刑は無期懲役、判決10年刑を受けられた方で、日本でも大きな救援活動が行われました。

先生は獄中生活の後遺症でパーキンソン病を患われ、無念にも2016年にお亡くなりになりましたが、生前に獄中体験の記録を原稿としてご自宅に残されました。私たちは先生の恨（ハン）を晴らすと同時に、先生の貴重な獄中証言を後世に残すためにも作業を続け、ようやく今回、出版の日を迎えるに至りました。私たちは救援運動と今まで同友会の活動を支えて下さった皆様方とともに、高秉沢先生のご本の出版をお祝いしたくご案内いたす次第です。



チョ・ヨンソン
曹永鮮弁護士

カン・ヨンウォン
当日の出版記念式には、高秉沢先生のご夫人の姜英園先生や救援運動をして下さった方々、また高秉沢先生の再審裁判で無罪判決を勝ち取られ、追悼文も書いていただいた韓国の曹永鮮弁護士にもお出でいただくことになっています。

皆さまもお忙しいことと思いますが、ぜひ多くの方々がご参加され、ともに喜んでいただければ嬉しく思います。

2026年8月7日 在日韓国良心囚同友会代表 李哲拝

「生日—在日韓国人政治犯・高秉沢の獄中手記—」

9・6 出版記念会

2026年9月6日（日）午後2時より

PLP会館4階中会議室（大阪市北区天神橋3丁目）



PLP会館

- ・地下鉄堺筋線「扇町駅」4番出口
- ・JR大阪環状線「天満駅」南側へ

【記念講演】

「《高秉沢先生追悼》過去と現在の絶え間ない会話を」

チョ・ヨンソン
講師：曹永鮮 弁護士

（韓国・民主社会のための弁護士会（民弁））

■参加費：2,000円（『在日韓国人政治犯 高秉沢の獄中手記』冊子代含む）

※「出版記念会」後、同会場で「交流会（参加費2,000円）」を催します。
（交流会参加の皆さまは、準備の都合があり8月30日までに事務局に連絡を!!）

■主催：在日韓国良心囚同友会

■問合せ：leechul1028@yahoo.co.jp korea@e-sora.net



センイル 「生日 — 在日韓国人政治犯

・ 高秉沢の獄中手記 —」

コ・ピョンテク

高秉沢 著

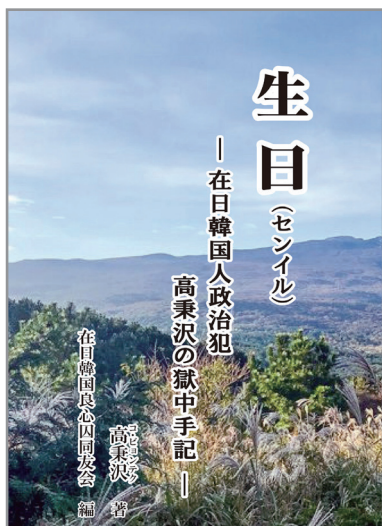
在日韓国良心囚同友会 編

「過去と現在との絶え間ない会話

韓国の曲がりくねった歴史と同じくらい歪曲された過去史を清算する作業は今も続いている。高秉沢先生に対する再審無罪判決を勝ち取ることもその一つの過程であり、拷問・暴行でスパイを造り上げて歪曲し、誇張した捜査官に対する賞勲剥奪もまたそのような過程の一つである。

“歴史を忘れた民族に未来はない”という言葉のように、屈曲した祖国の歴史と同じくらい凄まじい、中央情報部によってねつ造された“歴史”もまた、私たちが忘れず、正すべき歴史である。

長い間、病苦のため大変な余生を送られた高秉沢先生のご冥福を祈ります。姜英園先生と娘の高麗華、麗玉の健康と幸せを祝願します。また、日本海外技術者研修協会、そして高秉沢救援会の関係者の方々の国境、国籍を超えた普遍的な人権、人間愛に対して深い感謝のご挨拶をいたします。2026年6月」（再審担当弁護士・曹永鮮「推薦のことば」より）



《 推薦のことば 》

再審担当弁護士 曹永鮮

《 発刊に添えて 》

姜英園

第一章 『在日韓国人政治犯 高秉沢の獄中手記 生日』

高秉沢

第二章 遺された資料

1. 審裁判資料「高秉沢氏証言録（ハングル版）」

（翻訳：金マリア氏）

2. 『明治維新の成功と韓国』 高秉沢

（「中央公論」1968年2月号）

3. 『私にとって祖国とはなにか』 高秉沢

（「ウリ生活」1990年5月号）

《 解説 》「高秉沢さん救援運動」（関西の会 渡辺厚子）

☐ 2026年9月6日 発行 A5版 並製本 204頁

☐ 出版協力金 2,000円（送料含む）

☐ 発行 在日韓国良心囚同友会

■ 郵便振替口座

振替口座：00910-8-70544

加入者名：在日韓国良心囚同友会

■ 問合せ先（Mail）

在日韓国良心囚同友会（李 哲）

leechul1028@yahoo.co.jp korea@e-sora.net